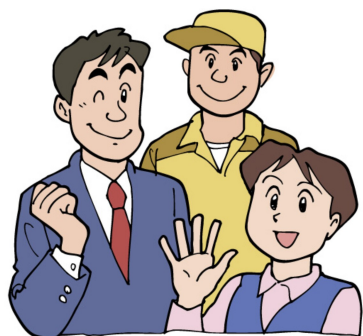


愛知県下で初めて



名古屋市議会で ブラック企業への 意見書採択

日本共産党名古屋市議団が原案を提出した「若者の『使い捨て』が疑われる企業等への厳正な対処を求める意見書」が、一部修正され、9月27日の本会議において全会一致で採択されました。

共産党が原案提出

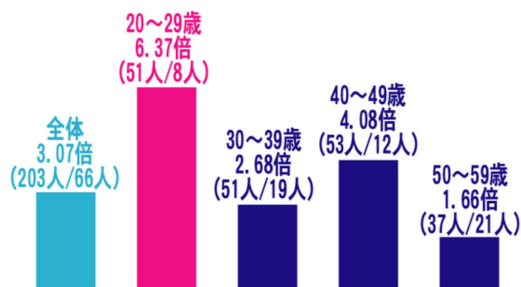
国会・政府への要望項目

1. 厳格な指導を行うとともに、重大・悪質な違反が確認された企業等に対して実効性のある措置を講ずること。
2. 雇用問題の相談窓口をより一層拡充するなど若者への就労支援体制を強化すること。
3. 労働行政における監視・指導体制のより一層の強化・拡充を図ること。

20代の自殺率が増加

内閣府の『自殺対策白書』によると、20代の自殺率がどの年齢層よりも増えています。過労自殺は6年間で6倍にも（右グラフ）。劣悪な労働が若者の命を奪っています。

6年間で20代の過労自殺は6倍増
(2012年度の過労自殺を2006年度比で見たもの)



厚生労働省「脳・心臓疾患と精神障害の労災補償状況」より作成

使い捨て労働NO! 人間らしい雇用と労働のルールを

●真実がわかる 明日が見える―「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。（日刊紙3400円/日曜版800円）

国政事務所ニュース

2013年
10月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所
〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-27 電話052-261-3461
日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。